


当社グループは「2016～2020年度グループ中期経営計画」を策定し、素材系事業・機械系事業・電力事業の3本柱による成長戦略を一層深化させ、盤石な事業体を確立させるビジョンである「KOBELCO VISION “G+”(ジープラス)」への取組みを進めています。輸送機の軽量化やエネルギー・インフラなど中長期的に伸張する成長分野に経営資源を集中し、当社グループ独自の付加価値を更に高め、競争優位性を発揮していくことで事業を拡大・発展させるとともに、社会への貢献を目指します。

※当グループ中期経営計画の詳細につきましては、当社ホームページ (<http://www.kobelco.co.jp>) をご覧ください。

2016～2020年度グループ中期経営計画 基本方針	
1 3本柱の事業成長戦略	
素材系事業	輸送機軽量化への取組み 鉄鋼事業の収益力強化
機械系事業	エネルギー・インフラ分野への取組み 建設機械事業の収益力強化
電力事業	安定収益化への取組み
2 経営基盤の強化	
i) コーポレートガバナンスの強化	
ii) 人材確保・育成	
iii) 技術開発力・ものづくり力の向上	
3 財務戦略	
財務規律の維持とキャッシュ対策の実施	
2020年度達成目標	
◆ROA(経常損益/総資産):5%以上	
◆D/ELシオ(有利子負債/自己資本):1倍以下を堅持	

※ROA:経常損益÷総資産 ※D/ELシオ:有利子負債÷自己資本

■中期経営計画 2018年度上期の主な取組み

素 材	電 力
<ul style="list-style-type: none"> ●自動車用超ハイテン(高張力鋼板)の需要拡大に対応するため、加古川製鉄所薄板工場において新たに連続焼鈍設備を中心とした超ハイテンの生産設備投資を決定。 ●燃費規制強化とアルミ押出・加工品の需要に対応するため、米国における自動車用アルミ押出材生産拠点の設備増強を決定。 	<ul style="list-style-type: none"> ●真岡発電所(栃木県)の建設工事を実施中。  <p style="text-align: center; font-size: small;">真岡発電所建設状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ●神戸での発電所新設プロジェクトに関して、電力供給を目的とした株式会社コベルコパワー神戸第二を簡易新設分割により設立。環境アセスメント完了後、神戸市と環境保全協定を再締結するとともに、資金調達についてプロジェクトファイナンス(特定の事業から得られる収益のみを返済原資とする資金調達方法)を組成。また、建設工事の着手に必要な法的手続きをすべて完了(10月1日に建設工事着工)。
経 営 基 盤 の 強 化	
<ul style="list-style-type: none"> ●人工知能(AI)を活用してものづくり力の強化および製品開発の効率化・高度化を目指す専任組織「AI推進プロジェクト部」を技術開発本部内に新設。 	

■KOBELCOの約束・Next100プロジェクト

2017年度に開始した、「KOBELCOの約束 Next100プロジェクト(次の100年に向けた活動)」をさらに推進し、信頼回復に向けた改革の実効性が高められるよう、社長をはじめとする経営幹部が国内外の各事業所を回り、社員に対して「KOBELCOの3つの約束」「KOBELCOの6つの誓い」の趣旨やこれらに込めた思いを直接語り掛ける活動を継続しています。

●社長による「事業所対話」

2018年4月から各事業所で部長クラスの管理職と、ひざを突き合わせた双方向の対話を開始しました。各部署のトップである部長クラスに、「Next100プロジェクト」活動の「実践の核」となって行動してもらうことを目的に、社長自らの考えを直接伝えるだけでなく、出席メンバーから出る意見一つひとつに耳を傾け応える、双方向の対話を図っています。2018年9月末までに、海外拠点を含む当社グループの全24事業所で延べ31回の対話を行ない、当社グループの信頼回復に向けて、「もう一度不祥事を起こせば次はない」という覚悟の共有や、一体感の醸成を図りました。さらに、この下期には、各工場における製造現場の監督者の長である「係長」との対話を開始しています。また、事業部門長などの社長以外の経営幹部も同様の対話活動を行なっています。

●KOBELCOの3つの約束

- 1.信頼される技術、製品、サービスを提供します 2.社員一人ひとりを活かし、グループの和を尊びます 3.たゆまぬ変革により、新たな価値を創造します

●KOBELCOの6つの誓い

1.高い倫理観とプロ意識の徹底	私たちは、法令、社内ルール、社会規範を遵守することはもちろんのこと、高い倫理観とプロとしての誇りを持って、公正で健全な企業活動を行います。
2.優れた製品・サービスの提供による社会への貢献	私たちは、「品質憲章」に基づき、安全かつ安心で、優れた製品・サービスを提供し、お客様の満足と社会の発展に貢献します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 品質憲章 KOBELCOグループは、製品、サービスにおいて「信頼される品質」を提供するために法令、公的規格ならびにお客様と取り決めた仕様を遵守し、品質向上に向けてたゆまぬ努力を続けてまいります。 </div>
3.働きやすい職場環境の実現	私たちは、安全で安心して働くことができる職場環境を実現します。また、一人ひとりの人格・個性・多様性を互いに尊重し、それぞれが最大限の能力を発揮して生き生きと働ける職場環境を実現します。
4.地域社会との共生	私たちは、グループの基盤である地域社会に貢献するよう努めます。
5.環境への貢献	私たちは、より豊かで住みやすい社会づくりを目指して、環境に配慮した生産活動を行い、技術・製品・サービスで環境に貢献するよう努めます。
6.ステークホルダーの尊重	私たちは、お客様、お取引先、社員、株主等を含む幅広いステークホルダーを仲間として尊重し、健全かつ良好な関係を築きます。